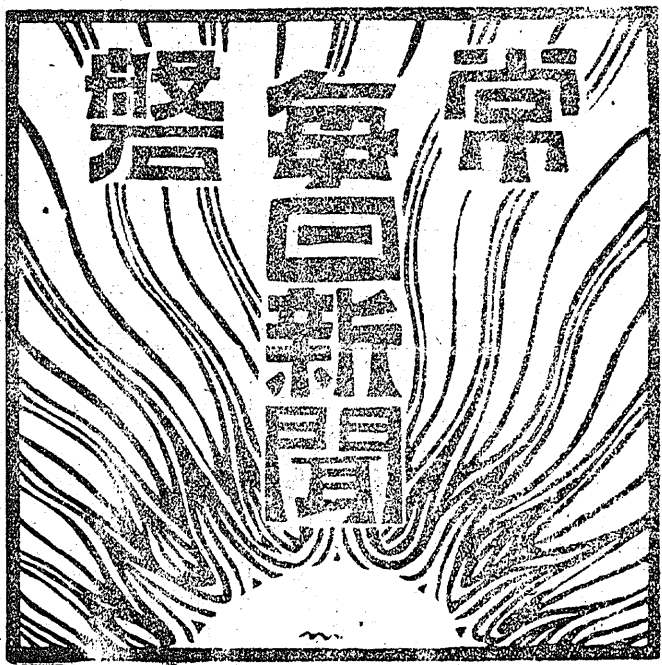


定（一部金貳錢） 廣（五錢十三） 休（日曜大祭） 福島縣石城郡平町長橋町三五
 價（一月五十五錢） 告（五錢一行） 日（祝日） 登（發行所） 常磐毎日新聞社
 料（五十五錢） 日（日） 電話六三〇〇



日刊 發行所編輯人 川崎文治 本社内（電話六三〇〇番）
 印刷所 常磐毎日印刷所

刊夕日六十月七

感想 大倉邦彦

東京市日本橋區一丁目二ノ五

善を愛好して善をなすは、不善を悪んで不善をなすは善惡に徹底し得ざる爲か
 命がけで惡をなす人はある善の爲に命を捨てる人は稀である
 人間は自己生活の中心點を探し見詰め、思考して見るが、必ず中心點の異動を必要とする人が少なくあるまい
 思ふ事言ふ事を決心して實

行に移し得なければ、思ふ事言ふ事は無駄を暇つぶしだ
 口癖に食ふ事が出来ないと思ふけれど、餓死した人の墓場を見た事がない、多くは食ひ過ぎた人の墓場ばかりだ
 杉林の葉が落ちて本木の肥料となつて増大するのは自己修養による人格の完成を思はしめ、立ち並ぶ杉の根が、互に入り亂れ交叉して肥料の分量を争はないのは共存共榮を意味する
 精神界は世上現實の仕事と無關係だと考へて居る人が多い、空に家は建てられな

にあつて空間を占めて居るのではないか
 平面的交際は、ふりまいた水の様なもので深みのある交際は井戸の様なものだ、汲めば汲み程湧いて来る
 神の觀念が曖昧で、唯感情的に入つた宗教は他の感情によつて取り去られる、感情が知識、理性の關門を通じて擱んだものなら永久ゆるぎがない

常磐文藝

梅雨集

渡邊何鳴

梅雨寒の灯に顔寄せて讀み更けし
 眠る兒に團扇ひまなく動きけり
 團扇やめてさらさら〜と句をしるしけり
 藤椅子に水打つ庭を見てのたり
 まともなる萩むら暗き端居かな
 田植女の笠直しゆる木蔭かな
 親と子と並び五色のうちわかな
 夕河鹿俳頭垂れて聞きすま
 螢とぶや次々くる十二橋
 螢とぶや草の中なる地藏尊
 打ちし蛾をかきよせすつるうちわかな
 晩涼や蚊火あほつ風青田より

磐城益唄懸賞募集

七月二十日
 七月二十八日
 官製ハガキ一葉三句以内但何葉も投稿することを得
 平町田町一六石坂方田町青年分團益唄募集係
 歌詞には振假名を附けること、住所氏名は明記すること
 一等五圓一名、二等三圓宛二名、三等一圓宛五名、佳作五十錢宛十二名、選外佳作手拭一本宛三十名
 主催 田町青年分團
 後援 磐城時報社 磐城新聞社 常磐毎日新聞社

内科、小兒科、花柳病科
藤沼醫院
 入院需應 平町紺屋町 電話四平五〇七番

清楚な 食事は サロン
 明るい 奉仕は サロン
 洋酒は 僕等の サロン
 田町通り
 清楚な食道 サロン
 電話三五二

最新式高級

セタン型二臺購入

自動車通のお客様は
 斷然この車をお撰び致します
 高級車でも破格の料金です
 是非一度御試乗を！

マツザキタクシー

電話番號は 獅子吼 四四九

ブラザルの味のする

コーヒーをめし上れ
 純粹モカコーヒーが入荷し
 おります………

森永モルトコーヒー

百グラム入一罐 卅五錢

目丁四平 ヤトモツマ 番四一二話電

米國式月 一組金十一圓

流通器荷着 賃料金五圓

産兒制限相談

▲月やく、閉止他藥無効者に限り漢法通經劑を特長直接骨盤腔に充血作用を起故通經
 ▲月やく止りは〇〇法に限る怪しき器具藥品等に迷されず當相談所に来つて救はれよ
 ▲平消毒舎（何でも安く消毒します）
 ▲検便、尿、乳、水質試験
 （金十五錢、廿錢、五十錢、一圓以上）
 平三丁目 宇佐美藥局 電話一六六番

旅館と知人の家に 宿泊した旅客の數

平小鐵道敷設の基礎調査 鐵道屬一名來平して

表日本と裏日本を聯絡するべき重要線路平小鐵道敷設の前提として同鐵道沿線の旅客及び物資の集散を調査すべく本日鐵道省建設局計劃課から鐵道屬堀内清次氏及び同浦本洵三郎の兩氏來平町役場に於て種々是れが調査を爲す所あつたが平町へ各方面より來る旅客及び知人の家等に宿泊した人員は昭和四年度に於いて左記の如き數字を示して居ると

郡山	九、七〇六	二、九四〇
水戸	七、九三〇	二、三六七
東京	三、六九七	四、一〇九
仙臺	三、九一三	一、八四四
福島	三、九一三	一、二七二
原町	三、三六六	七、七〇
富岡	四、三三二	六、七〇
助川	四、三三二	二、六八
湯本	四、三三二	二、六八
磐崎	四、三三二	二、六八
植田	四、三三二	二、六八
小名濱	二、九一三	一、二七二
江名	二、九一三	一、二七二
夏井	二、九一三	一、二七二
飯野	二、九一三	一、二七二
高島	二、九一三	一、二七二
鹿谷	二、九一三	一、二七二
神倉	二、九一三	一、二七二
好谷	二、九一三	一、二七二
内郷	二、九一三	一、二七二
澤渡	二、九一三	一、二七二
平郡線	一、三三九	五、五五
若松	一、〇九六	一、六〇

紛失補充證書 平町に在住せる補兵中で補充

取配を減便

平郵便局が 暑中の緩和

平郵便局にては暑中に於ける郵便集配を緩和する爲め十六日から九月十日まで市内通常集配一號便(午前七時半出發)同配達二號便(午後零時半出發)市外集配二號便(同上)を休止すると共に正午局出の市内通常取集便を卅分早發に変更實施すると

將校納涼會

沼の内辨天で

石城郡在郷軍人將校は廿日午前九時から同郡豊間村沼の内辨才天境内に參集して總會を兼ねた納涼會を催すと

印紙稅檢査

平稅務署で 廿一日から

平稅務署にては來る廿一日から左記日割を以つて印紙稅の集檢査を執行する等であるが同檢査に限り無印紙又は不足稅のものも檢査

官吏の面前で相當する時は處分を免れるが檢査を受けず物件の一部を隠匿した疑ひある向には更に店舗居室に就き檢査を執行する

(廿一、二の兩日平稅務署にて)平町(廿二日同)神谷、草野、平窪、好間、赤井(廿三日植田町役場に)植田、山田、錦、(廿四日四倉町)四倉、大浦、大野、(廿五日湯本町)湯本、磐崎、内郷(廿五日勿來町)勿來、川部(廿六日小名濱町)小名濱、泉、鹿島、玉川(廿七日江名町同)江名、豊間

天狗様の再來か

一本齒で富士登山 昨年の試みに成功し 愈よ本氣で乗り出す

平町白銀町青年分團の富士登山團體は既報の如く來る廿五日出發の筈であるが同行に人の眼を見張らしむべき變つた趣向の

一人が

參加する、平機關庫員の草野村坂本三四二君と一本齒の高下駄で富士の頂上を極めやうといふのである、昨年同團が花澤君の竹馬登山を應援して登山した時矢張り試みとして一本齒登山を企て途中に於て長れ多くも賀陽の宮殿下の御眼に止まるの

光榮を

擔つて遂に無事登山を成功した經驗を有して居るから勿論今年の

魚市場重役 全部再選す

紛争解決後の平魚市場は昨日總會を開き一時辭表を出した重役は左記の如く再選を見た

(社長)加納五郎(常務取締役)皆川新一(支配人)佐藤作平(取締役)伊藤彌平、野崎滿藏、我孫子才三郎

平町軍人慰問

出身で在滿在鮮及び内地の軍隊に在營中の軍人に對し伏見町長及び遠藤助役から暑中慰問狀を送つた

滿山の

人氣を背負ふ事になるであらうと

竈から失火

平窪の火事
石城郡平窪村大字平窪字鶯内馬車軌跡藤太郎方より昨十五日午後五時頃發火し住宅及び物置を全焼した原因は竈の殘火との事であるが同竈は靱殻を一回投入すれば其の火は一日間保つ

裝置になつて居るもので竈の周圍の柴木に燃え移つたのを家人不在の爲め遂に大事に至つたものであると因に消火に盡力中平消防組第二部消火係佐藤勤治君はホースの金具にて頭部を強打し裂傷を負ふたと

夏の魔物を驅逐 繪入りのポスターで

平警察署にては愈よ傳染病流行期に入つたので是れが撲滅を圖り夫々宣傳中であるが聲ばかり大きくした處で實績はあからぬとして繪入りの傳染病豫防ポスターを配付して夏の魔物傳染病を驅逐すると

回春院長新任

暫らく缺員中だつた石城郡豊間回春院長に今回就任した衛生技師金親覺氏は今日平町各官衙に挨拶廻りした

車は何台か

自轉車が一番

平町の諸車の現在數調べに依れば乗用自動車五十六台、荷積用自動車六台、人力車四十台、自轉車は自用が千四百五十六台、リアカ二百四十五台、荷車は五百三十三台、川船が八台であると

水源地視察

平土木委員會は明日午後

福運試し 妙見の宵祭

平町白銀町妙見稻荷神社にては本十六日宵祭を執行參拜者三千人に限り福運試しの抽籤付御護符を配り一等は反物であると

就職率低下 希望が不一致

平職業紹介所の本年一月から六月迄の就職割合は三割六分前年の四割一分に比較し約五分を減じて居るが求人求職の希望條件が一致せず就職率は漸次低下しつつあり一度失職したものは容易に就職出來ぬ有様であると

常磐片々

平小鐵道の基礎調査、診察する處を見ると匙を投げしにあらざるべし、喜べ未だ脈がある

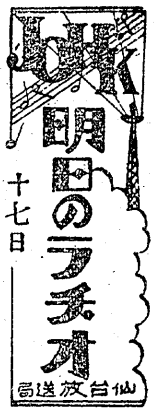
耳の兎

落下傘の空中乗り換へ妙技 米國落下傘下降の名手ジャックデーア君、六千呎の上空から降下を試みたが下降の速度が速かつたので傘のつぎ目が破れ二千五百呎を下つた頃はまつたく使へなくなつて了つたデーア君流石に落著いたもので、用意してゐたもう一つの落下傘をパツと開いて巧みに之に乗換へ悠々と著陸した落下傘の空中乗換は之が始めての記録

中村だより

盛大な百景傳達 日本百景に當選した松川浦は既報の如く、れが傳達式を去る十三日舉行水莖山夕顔觀音堂側に集參する者二百五十名東日營業部長社長代理として傳達し祝辭答辭あり後宴を松樹の間に張り太平洋をのぞんで松川浦の美姿を歌つた、歸途浦上に白帆片舟を泛べ東日の活動映畫に納めらる、因に松川浦紹介に寢食を忘れて奔走せられたるは中村町大馬佐藤俊輔氏で同氏の上に多幸あれと祈つて散會した。

一日中火の消えない竈、便利過ぎて家を焼く
一本齒の富士登山、總入齒の向ふを張る氣らし
印紙稅の檢査は地獄の沙汰も金次第、面前で印紙をは
れ
是れは又神參りが連次第
妙見稻荷で景品付きの護符
夏の魔物を繪紙で退散



明日の天気 今夜は北の風曇り晴れたり明日は南よりの風も荒れ模様

△前九・一〇 料理献立 「さら豆の吉野煮」西川里子「日用品値段」野菜類「前二〇・三〇」家庭講座「伊豆七島及小笠原島に就て」東京府知事官房主事三浦直彦「民謡」八丈初女節 淺沼たま 其他 (大島節)兩宮あき 其他 △後〇・〇五 講談「新門辰五郎と隼嘉吉」寶井馬秀 △後二・〇〇 家庭大學講座「養老學」養老研究所長醫學博士佐伯矩 子供の時間お △六・〇〇

住宅にはどんな木材を使つて良いか

大日本山林會理事 渡邊 全

我國は古來各方面に木材を多量に使用する風習があり、家屋の如きも建國以來長い間

木造建築

を續けて居るのであるから、其間に我國の氣候、木材の性質等は充分に研究し盡され、其構造も聊か固然する所なき迄に考察せられて居るのであるが、今日の如き精緻された建築法に則とれる木造建築は

神社佛閣

が高級住宅に僅に其面影を残すのみであつて、一般の建築は古來の經驗構造木材の性質氣

新門辰五郎隼嘉吉

(講演) 寶井馬秀

幕末の江戸に俠名を轟か

れた十番を組の鳥取新門辰五郎が天保三年極月廿七日四五人の若い者を指揮して淺草仲見世の松飾りをさせて居ると、雷門の方から來た年頃廿一二の男が辰五郎につき當り腹掛けの井に入つてあつた紺天三つ巻の財布を引抜いて仁王門の方へ雲霞と逃げ去ってしまった處が其夜此掬兒が辰五郎の許を訪ねて、ひるま掬り取つた財布を返し火急に金子十二三兩入用の事があつて頭の財布を掬取つたが中には三兩しかなくこれだけでは役に立たぬから御返し申すと云つた、辰五郎が其譯を聞くと嘉吉は元淺草新堀端の車方宿東屋五兵衛の伴で繼母のために家を飛出し掬兒の仲間に入つたか繼母の心得違ひから、家は微碌し、父は重病にかゝつて獨り阿部川町の裏屋に打臥し居ることを知り、父の病を癒す薬を買ふには少くも十二三兩の金が必要なので此日辰五郎の金を掬取つた所案外にも三兩よりなかつたので返しに來たと一伍一什を物語つた辰五郎は嘉吉の孝心を愛で、十三兩の金を與へ意見を加へて改心を誓ひ嘉吉は泣いて改心を誓ひ其恵みを受けて父の許へ赴くと父は既に冷き骸となつて居た、嘉吉は辰五郎の許に引返へして此次第を語り金を返へした、此時町奉行の用聞き花尾紋兵衛が掬兒の一件を聞いて辰五郎の

木曾御嶽の山開き 今泉庫次

許に來て居たが辰五郎から嘉吉の事を聞いて罪をゆるし辰五郎の子分にさせた嘉吉は間もなく纏持となつて忠實に働く内火事場で辰五郎のために一身を犠牲に其恩を報じた

中部地方の長野縣と岐阜縣との境を北から南に走つて居る、飛騨山脈即ち俗に日本アルプスと云はれて居る山々の一つである木曾御嶽について御話をしようと思ひます、木曾の御嶽さんは夏でも寒いと云はれてゐる山で、その山開きが毎年七月十七日に行はれるのです、御嶽は富士や日光と同じやうに昔は修験者の修業場でも多くの信者があつた、皆さんは先づ第一に白い着物を着て御祈禱をされる人を思ひ出されるのでありませう。我が國では遠い昔から火山にはかうして神様を祀るならばしがあつたのであります、丁度今からはその御嶽山のお祭で白衣に金剛杖をついて「六根清淨お山は晴天」ととなへながら登つて行く信徒で大變なにはひを呈します

眼鏡 トキハヤ 平町一丁目

文化清酒 コールド嵐山 コモ包の瓶詰 モダン花娘 元氣(一升瓶詰一、二〇〇 非常な好評賣行飛が如し) 相馬郡 瓜生酒店 電話一四五

キングパスト 水が微温湯で溶せばすぐ使へる簡単な接着剤 一名コナニカワ 四季を通じて一度ついたら膠着力は絶對的です 理想的完全耐水耐熱の可驚威力を發揮し防腐の効果著し

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 門專 院醫科 村松 (七〇一話電町南平)

健胃散 小野常治謹製

夏の子御用意 一文字帽子 パナマ帽子 ビンケー帽子 帽子 買ひ 良き店 5丁目 モリタヤへ 電353

國産精工舎製 腕時計セイコー 提時計エンバイヤ 平町五丁目 特約店 金光堂時計店 電話二七六番

愈々海水浴のシーズンには來ました 是非...四倉脱衣所組合へ 本年は不況の折柄特に 一枚 金九十五錢 但し團體の際は特に御相談に應じます 期間...七月十日ヨリ九月十日マデ 申込所 平町町 初音 電話二二六番

◆名畫に酷暑なし

松竹阪妻プロ特作品
 阪東妻三郎・森 静子……主演
石松の最後 全
 文久二年……清水港の次郎長が公儀のお咎めが解けた時分、次郎長が腕と頼める……森の石松が見るも悲壯無惨なる未だ世に傳へられぬ石松の最後を忠實に描けるもの

日活大作・新婚映畫十種の一
 好漢 小杉 勇・夏川静江……主演
新家庭講座 全
 金は親爺の懐ろにいづらでも有るものだと考へて居る男が、或る女と結婚した新家庭をもつと、そふはいかないでも仲々遊びはやめない、こんな人を夫にもつた奥様としての方法

日活獨自・太秦自慢の佳作
 四郎改メ新妻英助・伏見直江……主演
腕一本 全
 静かに更ける大江戸の町……所は深川の一隅、名物男拳骨の鐵五郎が涙が出る様な痛快な大活躍、其又變り者にスリのお銀がボーとする、愈々狸長屋の大事件、悪與力花田の隠謀を破つて凱歌を擧げる其中に七年振りの對面に泣いて喜ぶ……親と子がある

◆十七日寫眞替 ◆ 日活 平 館

絶対二度とない

破天荒の大廉賣

製産過剩に付

家具の半額割戻大賣出し

期間七月二十日ヨリ 十一日間

夏物藏拂大賣出し

半額割戻とは例へば……拾圓の御買上げに對し五圓の割戻券を差上ます其の割戻券で御自由に他の品を御持ちになることが出来ます

丸はん家具店

營業所 平町三丁目 電話三五九番
 工場 平町新田前 電話七二三番

夏の!!

家庭用品

食卓覆ひ

はちふた

カーテン

すだれ

是非御来店を

和久井屋 漆器店

平町壹丁目 電話四〇五番

奇妙に良きくハリグスリ
不思議膏
 神経痛、かたのこり
 うちみ、くぢき、リ
 ウマチス、齒痛
 ハツテ御覽なさい驚くばかり薬効あり

特約店
小野屋薬店
 平町四丁目 電話四一四番



喫茶部新設

各種修理
丸内薬局
 寒暖計 電話四〇番



防水完全でしかも輕快優秀な……
レインコート
 ……を種々豊富に取揃へました



松屋
 座銀・京東

移轉廣告

外科

外科科
 性病科
 光線科

入院隨意

安齊外科醫院

平町田町(赤心堂病院跡)
 電話四七五番

久能木式石油コンロ

▲燃料經濟日本一 ▲今が需要最好期

部分品附屬品修理修繕 平町 城山
吉田薬舗

◆コークス大々の値下斷行

従来一俵金壹圓貳拾錢ノ

東京瓦斯コークスヲ

金九十五錢ニ値下ゲ致シマシタ

◆一家ノ經濟ハ臺所カラ

使へ馴レ、バコークス程

經濟ナモノハアリマセン

▼使用法ハ參上シテ御説明申上マス

◆配達迅速 御注文ハ一俵ヨリ御届ケ致シマス

電話二三七番

平釋前 **阿部石炭商店**

平町新郵便局通り
 電話七六六番 水野水室コークス部